産学連携展示

in 京都ビジネス交流フェア2026

■主催　公益財団法人京都産業２１

日時　2026年 2/18(水)19(木)　10:00～17:00

場所　京都府総合見本市会館（パルスプラザ 大展示場）

概要　次世代のビジネスを見据え、大学が進める「フードテック」「ヘルスケア」「DX」「GX（環境）」「デザイン」に関する“産学連携事例”や“研究シーズ”展示を行います。12大学が、産学連携に興味を持つ企業とのマッチングや連携創出、共同研究推進のため出展しますので、是非、お立ち寄りください。

★来場前の事前相談受付中！！　▼ 相談内容やニーズを以下に入力ください ▼

URL・・・https://www.ki21.jp/entries/view/index.php?id=666306

（その他）
医療・ライフサイエンス分野のご相談は、
異業種連携チーム『京MED』まで！！

（京MEDのHPはコチラ）↑

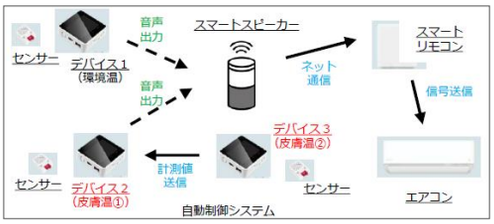
▶出展大学　一覧◀

ものづくり企業を丁寧に繋ぐ B to B マッチング
京都ビジネス交流フェア

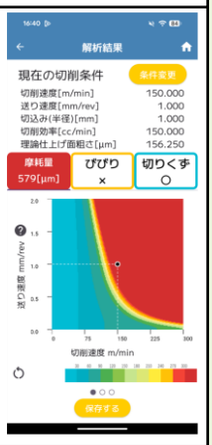
①フードテックカテゴリー

大学名	展示内容
福知山公立大学 連絡先：地域経営学部 ＆地域情報研究科(張) TEL　：0773-24-7100 MAIL　：zhang-mingjun @fukuchiyama.ac.jp	**【農産加工品の販路拡大に向けた地域共創型マーケティング研究】** 本展示は、地域事業者と張研究室が協働して進めてきた農産加工品のマーケティング戦略研究の成果を紹介するものです。生産者との産学連携による商品情報発信の強化、代理販売を通じたローカル市場・都会市場での評価比較、AIセミナーによる事業者の運営支援、レシピ開発やアンケート調査によるニーズ把握など、地域共創型の実証研究を展開してきました。こうした連携成果を基に、京都北部ブランド「京都中丹いちおし商品」が持つ地域資源の魅力と市場展開の可能性を示します。

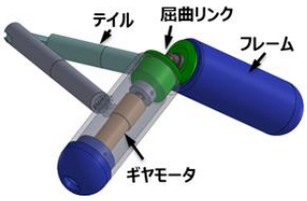
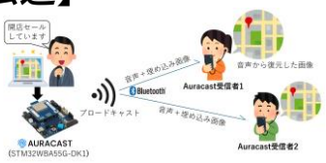
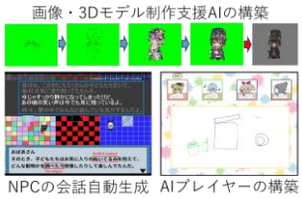
②ヘルスケアカテゴリー

大学名	展示内容
京都府立大学 **連絡先：企画・地域連携課(溝上)** **TEL　：075-703-5355** **MAIL　：liaison-office@kpu.ac.jp**	**【食と健康】** 食品が持つ栄養機能、嗜好的機能、生体調節機能は、健康を維持する上で重要な働きを有しています。本学では、「食」と「健康」を取り巻く要因を総合的に捉え、食品機能性成分、フードテックやデジタル活用など、幅広い研究に取組んでいます。このうち、食によるホルモン・神経を介した食欲・代謝・精神機能調節に関する研究[*1]、および健康支援システムを活用した個別化栄養サポートの研究[*2]について紹介します。 ＊1　https://www2.kpu.ac.jp/life_environ/animal_sci/ ＊2　https://www.kpu.ac.jp/media/eiyou.pdf （参考）京都府立大学シーズ集　https://www.kpu.ac.jp/industry/seeds/
奈良女子大学 **連絡先：社会連携センター** **（山崎・松田・森田）** **TEL　：0742-20-3734** **MAIL　：liaison@cc.nara-wu.ac.jp**	**【室内熱中症予防！(腕時計型デバイスを用いた温熱制御)】** 本シーズは、体温調整による皮膚温の変化を手首の両側の皮膚温や湿度を計測することで、体温調整の方向性を推定式により判断し、それに基づいて、周囲環境を変化させようというものです。手首両側の測定なので腕時計型のデバイスに組み込むことができます。 

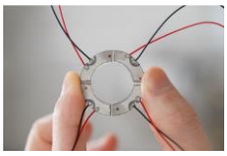
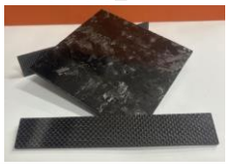
③DXカテゴリー

大学名	展示内容
岐阜大学 **連絡先：産学官連携推進部門(清水)** **TEL　：058-293-3358** **MAIL　：sangaku@t.gifu-u.ac.jp**	**【暗黙知から形式知への昇華による「加工学・生産工学」と「刃物学」の新展開を目指して】** ◎半導体デバイスの超精密加工に資する「見える化」技術をはじめ、「刃物学」の創出とその体系化に加えて、省エネ・医療・技術伝承に挑戦し貢献することを本研究室のテーマとしています。 ◎今回は「刃物学」「見える化」の一例として、刃物切れ味試験装置をご紹介いたします。 ◎ぜひ、私たちと一緒に新しい「見える化」に取り組んでみませんか。 ３次元ロボット研磨システム 刃物切れ味評価装置
大阪大学 **連絡先：産業科学研究所 戦略室(加藤)** **TEL　：06-6879-8448** **MAIL　：hisaaki** **@sanken.osaka-u.ac.jp**	**【KOBELCO未来協働研究所による「ものづくり革新ソリューション」；切削加工PJの紹介】** 大阪大学産業科学研究所と（株）神戸製鋼所が2022年に設立した「KOBELCO未来協働研究所」より、切削加工の現場技能者と伴走するスマホアプリ「切削条件設計支援アプリ」と連携する「切削加工ソリューション」の最新成果をご紹介させて頂きます。 

③DXカテゴリー

大学名	展示内容
龍谷大学 **連絡先：龍谷エクステンションセンター(栗田)** **TEL　：077-544-7291** **MAIL　：rec@ad.ryukoku.ac.jp**	**【転がってひねって、狭所・段差も踏破！探索用ロボット】**  人間が立ち入れない危険地や狭い空間での探索に小型ロボットが活用され始めました。この技術は、通常は、筒形の二つのローラーが順方向に回転し転がり移動し、段差などの不整地では、逆方向に回転させることで、『猫ひねり』技術を応用しています。 屋根裏や床下等の狭所や段差を安定して移動できる能力を持つ「探索用ロボット」を紹介します。
京都産業大学 **連絡先：研究機構(中基)** **TEL　：075-705-3255** **MAIL　：ksu-kenkyusuishin@star.kyoto-su.ac.jp**	**【Auracastによる音声と画像の同時伝送】**  Bluetooth LE Audio技術「Auracast」を利用し、音声に画像をリアルタイムで埋め込んで送信するシステムを体験できます。マイクに向かって声を入力すると、音声スペクトログラムに画像が埋め込まれ、Auracast経由で伝送されます。受信側では、音声を聞きながらPC画面に復元された画像が表示されます。本技術は、緊急放送の情報補強や聴覚障害者への視覚的支援などへの応用が期待されます。音声と画像の同時伝送による新しい音声通信の可能性を紹介します。
京都橘大学 **連絡先：学術振興課(髙瀬)** **TEL　：075-574-4186** **MAIL　：aca-ext@tachibana-u.ac.jp**	**【ビッグデータや生成AIの活用】** **(1)引きこもりなどに伴う睡眠異常の早期検知システム** **(2)携帯電話の人口統計を用いた観光地のルート生成** 18日（水）：大学生の引きこもりなどに伴う睡眠異常の早期検知システムや、携帯電話利用者の人口統計を活用した京都市内の観光地の数時間後の混雑予測や観光ルート生成システムを紹介します。 19日（木）：学生PBLで制作したゲームにAIを導入する研究や自作の画像データベースを用いて構築している制作支援AIについて展示・紹介します。 画像・3Dモデル制作支援AIの構築  NPCの会話自動生成　AIプレイヤーの構築
京都工芸繊維大学 **連絡先：研究推進・産学連携課(朝岡)** **TEL　：075-724-7035** **MAIL　：sangaku@jim.kit.ac.jp**	**【五感の一つである「触覚」に着目し、ヒト・ロボット・VR を横断する研究】** Haptics Lab. Kyoto Institute of Technology (1)触覚を人工的に再現するディスプレイ技術の開発 (2)触力覚活用フィジカルAI技術による高度作業のロボット自動化 (3)触感を新たな価値として社会で活用するための感性評価・デザイン手法の構築 (4)ロボットを巧みに操るための遠隔操作インタフェース・支援システムの開発 (5)触覚・力覚を介したヒトの行動支援技術の開発

④DX／GXカテゴリー

大学名	展示内容
同志社大学 **連絡先：リエゾンオフィス （芦田・佐山） TEL　：0774-65-6223 MAIL　：jt-liais@mail.doshisha.ac.jp**	**【超音波を用いた小型薄型可変焦点レンズの紹介】**  光学レンズを眼球の水晶体のように形状を変化させて、焦点位置を調整します。超音波で形状変化させるためレンズを動かすアクチュエータなどの機械的可動部がなく、従来のカメラモジュールと比較して小型・薄型化と高速化が可能です。 **【リサイクル炭素繊維を用いた環境調和型複合材料】**  炭素繊維強化複合材料（CFRP）の廃棄物から抽出したリサイクル炭素繊維を用いて作製したリサイクルCFRPを紹介します。従来のCFRPに比べ、金属や樹脂からの材料置換が容易な複合材料です。

⑤デザインカテゴリー

大学名	展示内容
京都大学 **連絡先：成長戦略本部 ソーシャルリレーションズ 領域(井上) TEL　：075-753-9722 MAIL　：liaison@saci.kyoto-u.ac.jp**	**【建築学専攻学生・教員による展示台・家具のご紹介】** ・同専攻科目の「設計演習」では、学生各自が建築設計を行い、図面と模型が学内ギャラリーに展示されます。 　展示台は、ギャラリー改修にあたり、学生・教員と企業が什器・空間改修の設計～施工を行ったプロジェクト成果物の一つで、高さ調節機構が特徴です。 ・家具は、木質建築部材のアップサイクル利用のため、CLTパネルを用い、工場・建築現場で発生する端材等を調査の上、端材等の寸法に即したモジュール体系でデザインしています。
滋賀県立大学 **連絡先：人間文化学部 生活デザイン学科(大江) TEL　：0749-28-8428 MAIL　：oe.y@shc.usp.ac.jp**	**【アップサイクルから考える環境に優しく 人を惹きつける公共空間デザイン】** 持続可能な公共空間デザインの実現を目指しており、その一環として、リサイクル資材（空き瓶・段ボール）をアップサイクルした照明器具やファニチャー（椅子）をデザインしました。これらを駅前公園に設置することで、単なる通過点となっていた空間へ人々を誘導し、滞留を促す空間を創出できるか、近隣住民や通勤・通学利用者の方によるユーザー評価に基づいて検証した社会実験の成果をご紹介します。

◆事務局
(公財)京都産業２１
イノベーション統括本部
イノベーション推進部